

平成31年3月28日

平成30年度労働安全表彰事業場について

平成30年度労働安全表彰事業場に、以下の28社・事業場（工場、製造所、事業所）を安全委員会として推薦し、第269回理事会において決定致しました（詳細は、別紙一覧を参照）。

なお、表彰は5月29日（水）の第39回定時総会で行われます。

記

1. 特別優良賞 23社・事業場

（構内協力会社災害実績を含む）

詳細は別紙「平成30年度労働安全表彰事業場一覧 特別優良賞」参照

規模区分（従業員、期間）	会社・事業場数	参考（平成29年度）
A（700人以上、1年間）	2	該当なし
B（300人以上700人未満、2年間）	6	6
C（100人以上300人未満、3年間）	5	7
D（100人未満、4年間）	10	10
計	23	23

2. 優良賞 5社・事業場

（構内協力会社災害実績を含まず）

詳細は別紙「平成30年度労働安全表彰事業場一覧 優良賞」参照

規模区分（従業員、期間）	会社・事業場数	参考（平成29年度）
A（700人以上、1年間）	該当なし	該当なし
B（300人以上700人未満、2年間）	2	2
C（100人以上300人未満、3年間）	2	1
D（100人未満、4年間）	1	2
計	5	5

以上

平成30年度労働安全表彰事業場一覧

一般社団法人 日本アルミニウム協会
安 全 委 員 会

特別優良賞

表彰の条件: 所定の期間、①、②、③の全てを満たすこと。
①休業および不休業災害がゼロである事
②労働安全衛生規則第96条(火災&爆発)の届出事象が無い事
③構内協力会社も休業及び不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間: 暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名		受賞回数	
			特別優良賞	優良賞
Aグループ 30年12月末平均在籍従業員数 700人以上 →1年間	YKK AP株式会社	黒部荻生製造所	5回目	1回
	株式会社 LIXIL	有明工場	7回目	2回
Bグループ 30年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(平成29~30年)	株式会社 LIXIL	名張工場	2回目	1回
	昭和電工株式会社	小山事業所	3回目	5回
	YKK AP株式会社	黒部越湖製造所	2回目	
	株式会社神戸製鋼所	大安製造所	2回目	3回
	株式会社UACJ押出加工名古屋	名古屋製作所	3回目	
	株式会社 LIXIL	岩井工場	2回目	4回
Cグループ 30年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(平成28~30年)	本多金属工業株式会社	恵那工場	2回目	1回
	株式会社UACJ鋳鍛		4回目	
	東洋アルミニウム株式会社	群馬製造所	3回目	6回
	株式会社 LIXIL	藤花工場	4回目	4回
	株式会社UACJ押出加工群馬		5回目	1回
Dグループ 29年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成27~30年)	昭和アルミニウム缶株式会社	大牟田工場	9回目	1回
	株式会社UACJ	日光製造所	初受賞	3回
	日本圧延工業株式会社		2回目	1回
	株式会社アルミネ	三隅工場	7回目	
	三協立山株式会社	氷見工場	4回目	4回
	東洋アルミニウム株式会社	新庄製造所(御所)	6回目	
	アルメタックス株式会社	静岡工場	7回目	
	株式会社アルミネ	大阪工場	7回目	
	新豆陽金属工業株式会社	川西工場	15回目	
	昭和電工アルミ販売株式会社	紀の川工場	初受賞	

優良賞

①休業および不休業災害がゼロである事

規模区分→表彰条件(期間: 暦年)	安全表彰推薦社名及び事業場名		受賞回数	
			特別優良賞	優良賞
Aグループ 30年12月末平均在籍従業員数 700人以上 →1年間	該当なし			
Bグループ 30年12月末平均在籍従業員数 300人以上 ~ 700人未満 →2年間(平成29~30年)	株式会社 LIXIL	土浦工場	5回	4回目
	昭和電工堺アルミ株式会社		1回	6回目
Cグループ 30年12月末平均在籍従業員数 100人以上 ~ 300人未満 →3年間(平成28~30年)	東洋アルミニウム株式会社	新庄製造所	4回	13回目
	不二サッシ株式会社	千葉工場		3回目
Dグループ 30年12月末平均在籍従業員数 100人未満 →4年間(平成27~30年)	株式会社片木アルミニウム製作所	大山工場	5回	6回目

安全表彰事業場数の推移(暦年集計)

優良賞は、休業、不休業災害がゼロの優れた安全成績を達成した事業場に対し表彰を行う。

特別優良賞は、上記に加え、協会会社も休業及び不休業災害がゼロ、かつ労働安全衛生規則第96条(爆発及び火災)による届出事がないこと

事業場規模区分	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計	特別優良	優良	合計
Aグループ 700人以上	1	0	1	1	0	1	3	0	3	1	1	2	0	0	0	2	0	2
Bグループ 300人以上 700人未満	2	1	3	1	0	1	1	2	3	3	4	7	6	2	8	6	2	8
Cグループ 100人以上 300人未満	7	1	8	5	2	7	8	1	9	9	0	9	7	1	8	5	2	7
Dグループ 100人未満	10	2	12	8	2	10	9	2	11	10	0	10	10	2	12	10	1	11
合計	20	4	24	15	4	19	21	5	26	23	5	28	23	5	28	23	5	28

<参考>安全成績の推移

	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年目標値	31年目標値	用語の定義
休業度数率	0.64	0.51	0.53	0.52	0.60	0.49	0.50	0.49	100万延べ実労働時間当たりの労災による死傷者数 (総合には不休業を含む)
総合度数率	2.00	1.80	1.93	1.70	1.93	1.81	1.70	1.70	
強度率 (死亡災害者数)	0.02 (0)	0.14 (1)	0.02 (0)	0.03 (0)	0.03 (0)	0.13 (1)	0.02 (0)	0.02 (0)	1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数

